

仏教学専攻

日本仏教史Ⅰ

担当教員	加藤 善朗	単位	2単位	開講期間	春学期
成績評価の基準	平常点 30%、授業中に行う小テスト 30%、レポート 40% レポートはWebや先行文献の引き写しではなく、講義内容を自身の観点からとらえなおしたもの(400字5枚程度)。				
教科書	『日本仏教史－思想史としてのアプローチ』末木文美士 新潮文庫必要に応じて教員補助プリントを配布。				
参考文献	講義内に指示する。				
授業方法	講義				

授業の概要・ねらい・到達目標・授業計画・注意事項など

日本仏教史の変遷とその思想を概観する。特に浄土教の流れについて着目し、現代と仏教との接点についてもその視点を向けていきたい。春学期は、仏教伝来から鎌倉新仏教までを取り上げる。

[授業計画]

1.	オリエンテーション日本仏教史を学ぶことに意味があるのか？
2.	日本仏教史の特色 鎮護国家と仏教・女性と仏教・遁世と聖(ひじり)
3.	仏教伝来と聖徳太子『十七条憲法』・『三教義疏』・法隆寺再建論争
4.	鑑真和上の来訪 唐招提寺・戒壇の成立
5.	南都の諸寺 金銅仏の隆盛・巡礼の成立・救済事業
6.	東大寺の建立 設計コンセプト・施行方法・資金調達の方法
7.	行基の方法
8.	源信と『往生要集』
9.	源氏物語と仏教
10.	神祇信仰と仏教 本地垂迹・神仏習合
11.	最澄と法華一乗1 最澄の出自と修学・遣唐使
12.	最澄と法華一乗2 山家学生式・大乘大戒壇の成立
13.	空海と真言密教1 出自と修学
14.	空海と真言密教2 東寺金堂と立体曼荼羅
15.	春学期まとめ テーマの見つけ方・レポート作成の方法・留意点について

[備考・注意事項等]

講義前、とりくむ単元の『日本仏教史－思想史としてのアプローチ』当該部分に目を通しておくこと。

備考:この科目は実務経験のある教員等による授業科目である